

特定非営利活動法人

ピボットフット

ラグビー/タグラグビー教室

活動報告書

2022年8月～23年7月



22年11月, 親子ラグビー体験会



22年11月ラグビー分析体験会



22年12月, 英語ラグビー体験会



23年2月, 初の練習試合



23年3月, 大森ラグビー教室



23年5月, スクラミーズ区民大会出場

Life with Sports!

PIVOT FOOT

おかげさまで、ピボットフット ラグビー/タグラグビー教室は、1周年を迎えました。



NPO法人ピボットフット
理事長 桑田健秀

スポーツで地域に夢と希望と感動を。

私たちピボットフットは、大田区を中心にスポーツの環境づくりと運営を行ってきました。スポーツ文化活動を通して明るく元気な地域社会づくりに貢献し、スポーツで地域に夢と希望と感動を提供し続けます。タグラグビー、ラグビー教室は2022年よりピボットフットのファミリーに加わり、多くの会員の皆様に支持をいただき、1周年を迎えたことを嬉しく思います。2023年はラグビーワールドカップがフランスで開催されます。タグラグビー、ラグビー教室が地域の皆様と一緒にますます発展していくことを願っております。

子どもたちの成長に感心。

保護者 湖城祐子さん

1周年、おめでとうございます。タグラグビー千鳥教室の開校とともに、兄弟2人がお世話になっております。2人とも毎回体育館に行くのを楽しみにしているので嬉しく思っています。初めての対外試合では、負けた後も諦めることなく、次はどうやったら勝てるのかを、仲間と一緒に考える姿に感心しました。タグラグビーというのは、頭のスポーツでもあるのですね。心身ともに成長していく子どもたちの姿を、いつも楽しんでおります。

原点に戻って、私自身も楽しみながら。

パパコーチ 松本知大さん

多摩川河川敷で柴谷さんと出会ってから、お手伝いさせていただいています。我が子は別の習い事が忙しくて参加できなくなったのですが、私が高校からラグビーに触れてきたこともあり、引き続き土曜日の雪谷コースの子ども達と楽しく汗を流しています。ラグビーの特性や魅力を通じて、子ども達の成長のお手伝いと、ご家族含めてラグビーファン拡大に微力ながら貢献できればと思います。



大田区に、小中学生がラグビーを楽しむ環境を。

大田区には、強豪高校ラグビー部や東京ガスラグビー部がありますが、小中学生のためのチームは非常に少ないのが現状です。ピボットフットラグビー教室は、区内各地で活動しており、協会としても全面的にサポートしております。この1年間で70名もの小学生がラグビーやタグラグビーを始めてくれました。次は、中学生たちがラグビーに親しめるよう、環境づくりを一緒に進めていきましょう。

大田区ラグビーフットボール協会会長 森秀胤

すべての世代に、豊かな運動機会を。

ラグビーを通して、多様な学びと運動習慣を。

教室発足のきっかけは、新型コロナによる子どもたちの運動機会の減少でした。

多摩川河川敷にて、娘と保育園の友達を集めて即席のラグビー教室を開いたところ、見聞きされた近所のご家族が集まってきてくれました。

ラグビーの特徴は、全身運動であること。そして、パス、キック、ランなど多様な動きが求められる点にあります。これを子どもにさせたい、自分もやってみたいという多くの方々の熱意に支えられ、平日に定期的に開催することになりました。その中で、ピボットフットと出会い、さらに東京ガスラグビー部や、大田区ラグビー協会からの強いサポートをいただき、この1年で多くの皆様が加入してくださいました。これからも、年代を問わず、さまざまな運動や学びの機会を提供してまいります。

(写真上)ヘッドコーチ

柴谷晋

(写真下)アシスタントコーチ

井出聖峰



タグラグビー教室



「スクラミーズ」、
公式戦にて準優勝。

毎年2,3月は、卒業式等の行事の影響で、体育館が使用できないことが多くなります。そこで、この間に大田区の名門タグラグビーチーム「トライアタック」に出稽古を実施。同チームは全国大会に出場するほどの実力。この対外試合のために、チーム名とマスコットを子どもたちから募集し、パパコーチと相談の結果、「スクラミーズ」に決定。スクラミーズは、トライアタックとの練習試合では全く歯が立たず。しかし、その経験をもとに、第76回区民スポーツ大会春季タグラグビー大会(23年5月21日)では、ボールの部準優勝を勝ち取りました。



雪谷、千鳥の両教室で混成チームを結成。ジュニアスクラミーズ(低学年)、スクラミーズ(高学年)の2チームが公式戦初出場。写真は、この大会のために作成したユニフォーム姿の高学年チーム。

雪谷教室土曜コース(雪谷小学校,第1,3土曜)

ピボットフットラグビー教室の活動は、タグラグビーから始まりました。22年7月に雪谷小学校体育館にて、体験会を実施。定員15名のところ、25名もの申し込みがあり、この雪谷地区でのラグビー人気の高さを感じました。8月に「雪谷教室土曜コース」として、12名の小学生とともにスタート。その後、定員の15名まで増えました。大所帯のクラスですが、ラグビー経験者の保護者を中心とした「パパコーチ」のサポートのおかげで、毎週充実した練習ができています。

22年9月からは金曜夕方コースも開設。低学年を中心に10名で活動。しかし、体育館の使用が不可となり、23年4月以降は活動休止となっています。



雪谷教室、最初の体験会。ラグビー大好きのお父さんたちも多く集まってくれました。

千鳥教室(千鳥小学校,毎週木曜)

22年9月より千鳥教室もスタート。小1から小6まで幅広く集まってくれました。タグラグビーは、タックルが禁止されているため、このように異年齢でも試合が可能です。また、この教室には6つの小学校から集まってきていて、年齢や学校を超えた交流をしています。22年12月より井出コーチが参加し、23年4月からは井出コーチがメインコーチとなりました。現在は小学生8名、中学生2名が毎週、ボールを追いかけています。

出雲教室(出雲小学校,毎週木曜)

23年4月より、蒲田地区初の出雲教室が開校。5月より9名の選手を迎えて活動開始しています。

スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム 「手話タグラグビー」

正式名称は「インクルーシブスポーツ教室。手話とタグラグビーを楽しみながら交流しよう!」。人気手話講師、袖山由美さんとともに、体を動かしながら手話を学びます。1年間で全10回のコース。23年7月の初回レッスンには子ども7名、大人6名が参加。聞こえる人と聞こえない人が一緒に、タグを楽しみました。



東京ガスラグビー部協賛 ラグビー大森教室



東京ガスラグビー部
部長 宮島勝利

東京ガスラグビー部は、大田区大森を拠点に活動しております。創部は1975年。まもなく50周年を迎えます。これまでも地域貢献の一環として、ラグビー教室やグラウンドの開放などを実施してきました。今回、ピボットフットラグビー教室に協賛することで、子どもたちが定期的にラグビーを楽しむ機会を提供でき、嬉しく思います。また、親世代への運動機会の提供や、弊部の外国人選手が地域の皆様と交流する機会にもなっております。今後、さらに地域に貢献できるよう活動を続けてまいります。



大森ラグビー教室（東京ガス大森グラウンド）

火曜コース（初心者中心）

ほぼ全員が初心者の火曜コース。今では皆、すっかりラグビー大好きに。女子と男子がほぼ半分。毎週、和気あいあいとボールを追いかけます。鬼ごっこのような遊びの中で、ラグビーの動きを身につけていきます。

水曜コース（経験者中心）

水曜コースは、タグラグビー経験者が半分。火曜コースからの移動組が半分。毎週、お互いの技術を高め合っています。練習の最後は、いつもタッチラグビー。キックも使いながら、たくさん走り回ります。



ラグビー英語体験会

語学は、体験することが上達への近道。ラグビーボールを使った運動をしながら、東京ガスラグビー部の外国人選手や専門の英語講師と英語で交流。英語や運動への興味を育みます。



親子タグラグビー教室 土曜午後、月1-2回

子どもと大人と一緒に楽しめるのが、タグラグビーの魅力の一つ。親子タグラグビー教室では、幼児、小学生、大人と一緒に練習をして、試合を楽しみます。大人には、専門のトレーナーによるストレッチ指導も実施。怪我なく、スポーツを楽しむことで、健康増進につながる運動習慣を身につけていきましょう。



子どもたちは、お父さん、お母さんとスポーツができて、大満足。平日は忙しくてなかなか運動できないのは、大人も小学生も実は同じ。月に1-2回、90分間たっぷり、大きな空の下で、思いっきり芝生の上を走り回ってください。

活動実績 22年8月-23年7月

タグラグビー雪谷教室土曜コース：22回

タグラグビー雪谷教室金曜コース：24回
(23年4月以降休止中)

タグラグビー千鳥教室：34回

タグラグビー出雲教室：16回

手話タグラグビー教室：1回

ラグビー大森教室火曜コース：32回

ラグビー大森教室水曜コース：35回

親子タグラグビー/ラグビー体験会：5回

親子ラグビー分析講習会：1回

ラグビー英語体験会：2回

